

京都大学若手人材海外派遣事業 スーパージョン万プログラム
研究者派遣プログラム

成果報告書

提出日：平成27年5月 日

1. 渡航者			
氏名	坂出 健	採択年度	平成25年度
部局	経済学研究科	電話	
職名	准教授	メール	
研究課題名	核不拡散レジームと軍事産業基盤（航空機産業・原子力産業）－1943年～1983年		
海外渡航期間	平成26年3月31日～平成27年3月29日		
2. 渡航に関する情報			
渡航先	国名：連合王国 大学等研究機関名：King's College London 研究室名等：The Centre for the History of Science, Technology 受入研究者名：David Edgerton		
渡航期間中の出張 (渡航期間中に一時帰国や学会参加等の目的で短期の出張があった場合、その目的、行き先、期間を報告して下さい。) ※複数回に渡る場合、適宜行を追加して下さい。	出張先：フランス（パリ） 目的：仏独原子力産業の現況に関するヒアリング 期間：平成27年2月25日～2月26日		

3. ジョン万プログラムによる成果

以下の項目について、渡航期間中の成果、または今後見込まれる成果を具体的にお書き下さい。ページ数については増加してもかまいません。

<p>国際共著論文の執筆</p> <p>(論文の題名、雑誌名、共著者名、刊行予定等)</p>	<p>Hubert Zimmermann (Philipps-University Marburg) , Nobuki Kawasaki(Kansai University), Takeshi Sakade (Kyoto University), “Burden Sharing and Security Trading.” <i>Kyoto Economic Review</i> に投稿準備中。</p>
<p>更なる外部資金獲得に繋がる国際共同研究の立上げ／実施</p> <p>(国際共同研究の内容、実施計画、応募予定の外部研究資金等)</p>	<p>平成27年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究および研究大学強化促進事業 学際・国際・人際融合事業「知の越境」平成 27 年度 融合チーム研究プログラムー SPIRITS に工学・国際法研究者とともに「核不拡散レジームと核燃料サイクルの将来」を応募するが不採択。今年度以降も応募する予定。</p> <p>平成27年度科学研究費補助金基盤研究 B に代表者として「覇権・基軸通貨・軍事産業基盤の二〇世紀史」を応募するが不採択。今年度以降も応募する予定。</p>
<p>国際研究ネットワークの新規構築／深化</p> <p>(参加した学会やその他の学術・交流組織、そこから構築／深化した研究ネットワークの内容等)</p>	<p>ロンドンにて国際シンクタンク IISS(the International Institute for Strategic Studies)の介意員となり各種イベントに参加した。研究テーマである核不拡散レジームについても、イラン核合意などについて専門家の知己を得た。</p>

<p>在外研究経験 による研鑽</p> <p>(渡航先機関で得た 研究の展開方法、研究 室の運営方法、教育方 針・人材育成方法等)</p>	<p>研究論文のドラフトを受け入れ教員の David Edgerton 教授にチェックしていただき、論理展開・課題設定の方法などについて貴重な示唆をいただいた。</p> <p>研究室の運営方針・教育方針としては、丁寧に教育する部分と、自主的に取り組む部分の使い分けがはっきりしており、京都大学での研究室運営に役立つと考えた。</p>
<p>フィールド研究 の進展</p> <p>(渡航先国で実施した 実地調査や文献調査 等の内容)</p>	<p>イギリス国立公文書館 (The National Archives, Kew) にて、英独蘭核燃料濃縮合弁の成立過程、英独オフセット関係の展開、INFCE プロセス、核不拡散レジーム成立過程におけるイギリスの役割について調査した。また、Kings College London 図書館の電子ジャーナルを活用して、研究テーマに関連する論文を多数入手した。</p>